

# 市民キャビネット災害支援部会3.11初動救援活動抜粋

メーリングリストは緊急時に備え稼働しています。現在は復興支援に関する情報交換を行っています。参加希望の方は<http://citycabunet.nngo.net/>からメール下さい。

メーリングリスト 日付と発信時間	支援団体	支援内容
2011/3/11 22:00	被災地NGO協働センター	東海道・中央道は不通の箇所が多いため、北陸道・山形経由で仙台に向かう
	ピースウィンズ・ジャパン	被災地にスタッフ派遣を決定。緊急支援用大型テントや炊き出しセットを活用した避難所運営等を予定
	日本レスキュー協会	京都府警と合流し東京方面に向かう。合流後は東北方面に向かう予定
	日本搜索救助犬協会	久喜市に待機中。停電によって連絡が難しい
	市民キャビネット支援部会	現地からの報告をインターネット・ラジオ放送で流す。活動資金の募金を始める。
2011/3/12 5:40	NPO法人アトピッ子	現地の食物アレルギー、ぜんそくなどの疾患のある患者の支援
	特定非営利活動法人JEN	被害が特に深刻な宮城県北部を中心に、支援の行き届いていない地域や人々を対象に緊急支援を行う。
2011/3/12 17:00	国土交通省政務官室	12日16:00頃から宮城県災害対策本部を立ち上げ、市民キャビネット災害支援部会に支援要請を行う予定。
	市民防災ヘリコプターチーム	現在関越道赤城IC近くの基地で待機。緊急物資の移送や被災現場からの救出、移送ができるとした。
	日本レスキュー協会	3人3頭態勢で京都府警と同行。盛岡南ICで降りて情報収集救援に入る。
	日本搜索救助犬協会	消防の要請に基づき4人6頭態勢で気仙沼消防本部に向かう。
	九州救助犬協会	消防の要請に基づき6人6頭態勢で気仙沼消防本部に向かう。
	沖縄災害救助犬協会	消防の要請に基づき5人3頭態勢で13日20:00の飛行機で羽田に向かい、気仙沼消防本部に向かう。
	NPO法人キャンパー	炊き出しの際の野菜の提供。そのために購入・輸送ルートを確認するように要請。
2011/3/13 7:00	市民防災ヘリコプターチーム	13日早朝から気仙沼の介護老人保健施設(浜なすの丘)に支援物資移送を開始。山形空港でのボランティアを募集
	日本レスキュー協会	3月12日23:30災害救助犬チームは3人3頭態勢で岩手県庁に到着。陸前高田の被災現場へ向かう予定。
	日本搜索救助犬協会	消防の要請に基づき4人6頭態勢で気仙沼消防本部に向かう。(連絡がとれていない)
	沖縄災害救助犬協会	消防の要請に基づき5人3頭態勢で14日の飛行機(まだチケットがとれていない)で羽田に向かい、NPO法人日本太鼓協会の車両で、気仙沼消防本部に向かう。
2011/3/13 11:00	市民防災ヘリコプターチーム	赤城の基地から支援物資、救助隊員3名を乗せ、介護老人保健施設に移送。パイロットの報告によると、施設に物資はあるが、近隣の孤立しているところに配布してほしいとの要請があった。高台で安全であり、駐機できるスペースがあり臨時ヘリポートができた。3階建ての施設で、500名以上の方が避難している。
	日本レスキュー協会	陸前高田市にて山形消防と共に9:30~16:00の間、搜索活動を行うも発見には至らず。
	日本搜索救助犬協会	気仙沼警察と合流し、唐桑地区の搜索救援を行った。連絡がとれない状況。
	九州救助犬協会	現地に向かっており、14日早朝に宮城県災害対策本部に到着、指揮下に入る予定。
	沖縄災害救助犬協会	14日16:45羽田着NPO法人日本太鼓協会の車両で、宮城県庁に向かう予定。
	被災地NGO協働センター	名取市の閑上地域で炊き出しを行う。今日は第一中学校で炊き出し。すでに富山県の高岡市からきた救援グループが本格的な炊き出し活動を行っていて一緒に活

2011/3/14 20:00	市民キャビネット支援部会	「福島からの避難民が米沢に来て、米沢市内の避難所に移る。毛布が500枚足りない」との呼び掛けに、静岡県ボランティア協会が手元に集まっていた毛布を提供し、今夜6時に静岡からトラックで米沢市役所宛に移送しました。深夜には米沢に届く予定。この仲介をしていただいたのは生活クラブやまがた生協です。
	市民防災ヘリコプターチーム	「市民防災ヘリコプターチーム」は14日は山形空港の着陸許可がでず、機体を戻すだけで、効果的な活動ができなかった。航空用ガソリンが不足しているので、国、マスコミの力を借りて確保に向けて活動中。
	日本レスキュー協会	3月14日朝7:00の会議で福井消防とともに陸前高田市の米崎町周辺で捜索する事を決定。9:00～16:00まで捜索をおこなったが、余震や津波が来るとの情報のために捜索が度々中断、一時退避を余儀なくされた
	日本捜索救助犬協会	自衛隊と行動を共にし、2班に別れ、1班は 気仙沼市南町、柏崎、河原田、港町 2班は気仙沼市内の脇潮見町を巡回中。
	九州救助犬協会	現地に気仙沼市で日本捜索救助犬協会と合流。
	沖縄災害救助犬協会	気仙沼市に向かっている。日本レスキュー協会と合流するかも知れません。
2011/3/15 6:00	市民キャビネット支援部会	「輸送隊」、「カメラ隊」、「募金隊」、「広報隊」、「救援出動隊」のボランティアの募集。支援物資の募集(航空用ガソリン及びガソリン、清潔な毛布、支援金)
2011/3/15 20:00	市民キャビネット支援部会	14日18:00からの総務運営委員会の結果、内閣総理大臣補佐官(災害ボランティア担当)辻元清美様、民主党幹事長 岡田克也様宛下記3点について、要望書を提出した。(高速道路の無料化や被災地への優先的な燃料の提供など)
	日本レスキュー協会	9:28 岩手県九戸郡野田村で捜索活動。11:45野田村で捜索活動を行っていたが、重機が入り復興作業になった為、救助犬での行方不明者の捜索活動は終了。岩手県対策本部へ戻り、新たな捜索現場を検討。16:10大船渡市で捜索している大阪市消防と合流する為、大船渡市に向かっていたが、大船渡市には既に多数の救助犬が居る為に急遽中止。明朝8:30から大阪府下の消防と合同で生存者が発見された岩手県大槌町の捜索にあたる
	日本捜索救助犬協会	九州救助犬協会(6人、6頭)と九州の自衛隊に同行し、気仙沼市 田中地区を巡回。生存者は津波の避難で2階以上におられる方が多いので重点的に捜索したが捜索は壊滅的で生存者を発見するにいたらず。
	沖縄災害救助犬協会	、岩手県大槌町に向かい、特定非営利活動法人日本レスキュー協会と合流予定。
	被災地NGO協働センター	先遣隊として12日～13日、宮城県名取市で活動した吉樫隊員が、名取市で聞いた被災者の声を届ける。
	日本レスキュー協会	災害救助犬チームは方針転換により、現地に残留することになりました。現在花巻空港近くで待機中。本日の活動予定地域についてはまだ決定されていないとの事。
2011/3/17 7:00	被災地NGO協働センター	宮崎の野菜をNPO法人キャンパーが輸送し、炊き出しを行うとのこと
	ユニバーサルデザイン研究機構	大型トラック2台で、陸路仙台・宮城ヘリポートへ向かい「市民防災ヘリコプターチーム」の協力も得て、避難所へ届けます。
	全日本救助犬団体協議会	生存者捜索活動終了。
日本レスキュー協会	活動完了。帰路につく。	
沖縄災害救助犬協会	生存者発見できず。帰路につく。	
日本捜索救助犬協会	厳しい状況の中を割り当てられた地域の捜索に単独で当たったり自衛隊と協力しながら生存者救出に全力を尽くしたが17日まで生存者の救出は出来ず。	

2011/3/17 23:30	九州救助犬協会	生存者発見には至らなかったが、数多くの倒壊家屋での遺体発見となった。本日をもって陸路九州に帰還。
	輸送隊	日立港病院に向けて、支援物資を移送しました。
	ユニバーサルデザイン研究機構	支援物資を大型トラック2台で、気仙沼市へ移送しました。京都からは支援物資8tトラック1台、毛布を積んだ10tトラック2台が東京を目指しています。到着次第、いわきへ毛布1000枚、石巻へ毛布1000枚届ける予定。
	市民キャビネット支援部会	埼玉NPOハウスから株式会社RST提供4tトラックで、仙台芋沢ヘリポートに向けて出発。国境なき楽団つばさ号(4tロングトラック)埼玉NPOハウスから、仙台芋沢ヘリポートに向けて出発予定。
2011/3/18 8:00	輸送隊	輸送隊の不足。埼玉NPOハウスから被災地までのトラック(4t2台分)が必要とのこと。
	市民キャビネット支援部会	レトルト食品の募集。(いわき市の松村総合病院)
	株式会社ラッシュジャパン	チャイルドライン支援センターの紹介で支援金100万円と石鹸、化粧水など埼玉NPO施設に出荷。仙台方面へ移
2011/3/19 23:00	市民キャビネット災害支援部会 日本災害医療薬剤師学会	緊急医療チーム被災地へ出発 日本災害医療薬剤師学会8名の薬剤師及び前進基地要員5名が運転ボランティアの協力を得て埼玉NPOハウスを出発しました。 日本災害医療薬剤師学会を優先的に仙台薬剤師会館に移送し、先発したWEL'S隊、10tトラック、先遣隊及び「市民防災ヘリコプターチーム」と合流して宮城県柴田郡村田町菅生6-1 菅生サーキット前進基地を設置し、救援活動に入ります。
	市民キャビネット支援部会	菅生サーキットに市民キャビネット災害支援部会前進基地を設置。現地で活動するボランティアスタッフ5名は先遣隊及び市民防災ヘリコプターチームと合流して救援活
2011/3/20 7:00	市民キャビネット支援部会	菅生サーキットに市民キャビネット災害支援部会前進基地を設置。現地で活動するボランティアスタッフ5名は先遣隊及び市民防災ヘリコプターチームと合流して救援活
	被災地NGO協働センター	アレルギー対応の粉ミルクが不足しているのに伴い、「粉ミルクを届けようプロジェクト」を立ち上げる。
2011/3/21 6:00	輸送隊	菅生サーキット前進基地からマイクロバスでいわき市の松村総合病院へ食糧を搬送する。
	市民キャビネット支援部会	仙台市役所そばの緊急支援対策本部(ワンファミリー仙台)に灯油、軽油ドラム缶及び食糧等の緊急物資を移
2011/3/21 20:00	市民キャビネット支援部会	菅生サーキットの市民キャビネット災害支援部会前進基地は撤収します。
	[NPO連携]GANBARO ↑ MIYAGI/ 宮城復興支援セン	現地からの緊急要望支援物資 カップラーメン、缶詰、米、生理用品、紙おむつ、トイレトペーパーコップやはし、カセットコンロとガスボンベ、ウェットティッシュ、ポリタンク、炭、ガスバーナーなど
2011/3/23 14:00	市民キャビネット支援部会	今後も緊急移送、復興移送に必要と思われるので市民キャビネット災害支援部会専用の4tトラックを購入、活用するプロジェクトを開始。
2011/3/24 9:00	市民キャビネット支援部会	東日本大震災救援ボランティア研修会のお知らせ
2011/4/17 15:00	市民キャビネット支援部会	東日本大震災復興NPO支援全国プロジェクト準備会が設立。於:立正大学

※市民防災ヘリコプターチームは現在特定非営利活動法人市民航空災害支援センターとなっています。

※全日本救助犬団体協議会(特定非営利活動法人沖縄災害救助犬協会、特定非営利活動法人九州救助犬協会、認定特定非営利活動法人日本レスキュー協会、特定非営利活動法人日本捜索救助犬協会、特定非営利活動法人北海道ボランティアドッグの会)